

2006 年（平成 18 年）度
動物検疫業務及び植物検疫業務（輸出入及び港湾・空港手続関係業務）に
係る業務・システム最適化実施評価報告書

2007 年 8 月 10 日

農林水産省行政情報化推進委員会決定

1. 動物検疫業務及び植物検疫業務（輸出入及び港湾・空港手続関係業務）に係る
業務・システムの概要

項 目	内 容
個別管理組織担当課室名	農林水産省消費・安全局動物衛生課、植物防疫課
府省全体管理組織 担当課室名	農林水産省大臣官房情報課
対象期間	2006 年 4 月 1 日～2007 年 3 月 31 日
最適化工程の段階	設計・開発段階

2. 設計・開発段階における評価

(1) 基本設計等事業者の選定

（最適化の実施内容）

「動物検疫業務及び植物検疫業務（輸出入及び港湾・空港手続関係業務）に
係る業務・システム最適化計画」に基づく次期システムの基本設計等事業
者の選定

（最適化の実施状況）

(7) 基本設計等事業者の選定

企画段階で作成した仕様書及び要件定義書を利用して、一般競争入札
（総合評価落札方式）を実施し、日本ユニシス株式会社と請負契約（契
約日：2006 年 8 月 31 日、契約期間：2006 年 8 月 31 日～2007 年 3 月 30
日）を締結した。

- ・ 入札公示 : 2006 年 6 月 28 日
- ・ 入札説明会 : 2006 年 7 月 14 日
- ・ 入札 : 2006 年 8 月 31 日

(イ) 調達における総合評価の体制

- ・ 総合評価は、大臣官房情報課、消費・安全局動物衛生課及び植物防疫課、
並びに動物検疫所及び植物防疫所職員から構成される総合評価委員会
より実施。
- ・ 総合評価項目は入札仕様書の項目に沿って設定。
- ・ 総合評価はＣＩＯ補佐官の助言を得ながら実施した。

【最適化実施の評価】

○課題及び問題とその原因

なし

○対策
なし

(2) 基本設計等に係るスケジュールの策定及び推進体制の整備

(最適化の実施内容)

「動物検疫業務及び植物検疫業務（輸出入及び港湾・空港手続関係業務）に係る業務・システム最適化計画」に基づく次期システムの基本設計等に係るスケジュールの策定及び推進体制の整備

(最適化の実施状況)

(7) 次期システムの基本設計等に係るスケジュールを策定。

(4) 設計等の実施体制整備

動物衛生課、植物防疫課、動物検疫所、植物防疫所及び事業者の担当者を決定し、実施体制を整備。

会議体	会議目的	参加者	開催頻度
全体会議(プロジェクト会議)	計画の承認、進捗状況の報告、問題・障害の報告とその対応の承認	CIO補佐官 大臣官房情報課担当者 動物衛生課及び植物防疫課担当者 動物検疫所及び植物防疫所担当者 事業者	原則隔週1回 計12回
共通化検討会議	共通化の検討	CIO補佐官 大臣官房情報課担当者 動物検疫所及び植物防疫所担当者 動物衛生課及び植物防疫課担当者 事業者	3回
個別検討会議	基本仕様書の見直し 外部設計の実施	動物検疫所または植物防疫所担当者 事業者	原則週1回 動検30回 植防29回
リスク分析・管理検討会議	リスク情報の収集・分析・活用について	CIO補佐官 動物衛生課及び植物防疫課担当者 動物検疫所及び(または)植物防疫所担当者 事業者	共通2回 個別 動検4回 植防5回
システム方式・インフラ方式検討	システム方式・インフラ方式設計	CIO補佐官 動物検疫所及び植物防疫所	

討会議	のための検討	担当者 事業者	4回
-----	--------	------------	----

【最適化実施の評価】

- 課題及び問題とその原因
なし
- 対策
なし

(3) 基本設計の策定等

(最適化の実施内容)

- ・最適化理念（①電子申請の推進②効率的・効果的な動植物検疫業務の遂行③検疫業務手法の蓄積、普及及び継承による人材の育成強化④動植物検疫業務の信頼性確保⑤システムにかかる経費の削減及び安全性・信頼性の向上・強化）に基づく新システムの基本設計策定
- ・詳細設計及び開発に係る仕様書・要件定義書の作成

(最適化の実施状況)

スケジュールに沿って基本設計及び仕様書を作成し、最終報告会が2007年3月9日に行われ、3月30日に提出された。

【最適化実施の評価】

- 課題及び問題とその原因
本年度実施した基本設計に基づく仕様書の作成の過程において、必要機能の作り込みの深さや機能間連携の複雑さが想定を上回っていることが判明し、仕様の見直しを行う必要が生じた。
- 対策
仕様書の見直しを実施した。

(4) 詳細設計・開発業者の調達準備

(最適化の実施内容)

「動物検疫業務及び植物検疫業務（輸出入及び港湾・空港手続関係業務）に係る業務・システム最適化計画」に基づく次期システムの詳細設計・開発事業者の調達準備

(最適化の実施状況)

- ・詳細設計・開発事業者の調達準備
基本設計と併せて作成した仕様書・要件定義書を利用して、一般競争入札（総合評価落札方式）により詳細設計及び開発業者の選定を行うための調達の準備を行った（入札等は2007年度）。

【最適化実施の評価】

- 課題及び問題とその原因

なし
○対策
なし

3. 最適化の効果の評価

最適化の効果が発現するのは2008年度からであるため、2006年度においてはまだ効果が発現していない。

4. 最適化実施の総合評価

(1) 課題管理・対応状況

個別管理組織及び設計業者間でのコミュニケーションを重視しつつ、効率性、コスト管理の観点から基本設計の検討に鋭意取り組んだ。

(2) 総合評価

評価の結果、今後も引き続き最適化計画に沿って実施すれば特段支障がないと認められる。

5. その他

府省共通業務・システムの輸出入及び港湾・空港手続関係業務における府省共通ポータル概念設計、経費等に関して財務省及び関係府省と会議を開催。

6. 添付書類

なし